

フウラン交配種の育て方

フウラン（ネオフィネティア ファルカタ）は日本に自生するランで、寒さに強く、香りの良い白い花を咲かせます。バンダやアスコセントルム、リンコステイリス等の熱帯アジアに自生する多彩な花色のランと交配され、色鮮やかでかつ比較的寒さに強い品種が作りだされています。（フウランの学名は見直しが行われ、現在は（バンダ ファルカタ）の学名が一般的に使われています）

フウランを交配親に用いた主な人工属

アスコフィネティア属	アスコセントルム属 × フウラン
ネオステイリス属	フウラン × リンコステイリス属
バンドフィネティア属	バンダ属 × フウラン

栽培管理

置き場所

5月頃、霜の心配が無くなれば戸外に出します。風通しの良い場所を選び、棚上か、できれば吊り鉢にして管理します。春と秋は日光に十分当たりますが、夏は葉焼けしないように寒冷紗などで30%程度遮光します。

秋、霜が降りる前に室内または軒下に取り入れます。冬の間日光にはできるだけ当てるようにします。最低温度は5℃以上、できれば8～10℃を目標に管理します。

植え込み材料はミズゴケが使用できます。根が空気に触れることを好むので、ヘゴ板に着けたりバスケットで栽培したりすると良くできます。

水やり

春～秋は植え込み材料が乾き、根が白くなったらたっぷり水を与えます。ヘゴ板やバスケットで栽培する場合、夏には朝夕2回与えることもあります。冬に10℃以上保てる場合には、植え込み材料が乾いてからすぐに、10℃以下になる場合には、植え込み材料が乾いてからさらに2～3日待って、暖かい日の午前中に水を与えるようにします。5℃以下になるようであれば2～3週間に1回程度にまで水やりを控えます。

肥料

春～秋にかけて、薄めの液肥を月に2～3回与えます。冬には与えません。

病害虫の防除

蕾にアブラムシがよくつきます。見かけたら、爪楊枝の様な物で取り除くか、適用のある殺虫剤を散布します。また、根がナメクジに食害されやすいので、捕殺するか殺ナメクジ剤をまいておきます。

フウラン交配種の年間管理表

置き場所	5月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
	戸外						×	室内または軒下					
	最低5℃、できれば8～10℃以上												
日当たり (遮光率)	30%						遮光しない						
水 や り	乾いたらたっぷり						少なめ						
肥 料	薄めの液肥を月に2～3回												
作 業	→ 植え替え						← 植え替え						

